

広川チーム完走

市町村対抗「福岡駅伝」

11月18日(日)、県営筑後広域公園で第5回市町村対抗「福岡駅伝」が行われ、広川チームも出場しました。福岡駅伝は県内全市町村から1チームずつ計60チームが参加し、9区間30・1キロメートルを競うもの。広川チームは日ごろの練習の成果を発揮し、今年も力を合わせて完走することができました。

●広川チーム(敬称略)
 「監督兼選手」才所道弘
 「選手」栗原康伸、永野莉々果、中村光伸、野田菜里、永松惇、原島太陽、田島枝里、川崎勢和、川崎剛司、田中菜々美、中島元太



夢のプレゼンでグランプリ

茶農家 弓削洋さん

10月30日(火)に福岡市で行われた「九州農業ドリームプラン・プレゼンテーション2018」において、弓削洋さん(太田区)が最高賞のグランプリに輝きました。

このイベントは、九州の農業・食分野で活躍する人々が、実現したい夢を本気で発表するもの。来場者の投票でグランプリを決定します。

八女茶の生産農家である弓削さんは、昨年度から紅茶の生産にも着手。「ありがとう!」といってもらえる「幸茶」と題し、緑茶や紅茶で多くの人に幸せを届けたい、という夢を発表しました。

笑いあり、熱戦あり

ファミリーバドミントン交流大会



12月2日(日)、中広川小学校体育館で「広川町スポーツフェスタ(樋口杯)ファミリーバドミントン交流大会」が行われました。18チーム80人が参加し、笑いあり、熱戦ありの楽しい大会となりました。

【優勝】笑顔の天使たち【準優勝】クローバー

プロレス再び

九州プロレス2月に試合



九州プロレスの皆さんが11月14日(水)、渡邊町長を表敬訪問し、2月17日(日)に広川中学校で試合を行うことを報告しました。

九州プロレスによる町内での試合は、昨年に引き続き2回目。前回は広川中体育館に500人も人が詰めかけるなど、大盛り上がりとなりました。

あの熱い戦いを再び間近で見られるチャンス、皆さんぜひお越しください。

まちのわだい

軽トラック 1 台分のごみ収集

隊友会八女・筑後支部



自衛隊OBの隊友会八女・筑後支部が11月25日(日)、工業団地入口から藤田区へ続く道路のごみ拾いをしました。これは毎年奉仕作業の一環で行われているもの(昨年までは河川清掃)。会員14人(最年長91歳)で、軽トラック1台分のごみを収集しました。

統計調査で表彰

馬場区 蓮子初子さん



11月22日(木)、福岡県庁で開催された「福岡県統計情報フォーラム2018」で、蓮子初子さん(馬場区)が経済産業大臣表彰を受けました。蓮子さんは経済産業省所管の統計調査のうち、構造統計で尽力した功績が認められました。

公民館で楽しく介護予防

藤田区いきいき体操



住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らすため、藤田区公民館で11月14日(水)、「いきいき体操」が行われました。区内で声を掛け合って集まった参加者23人は、介護予防サポーター(※)から教わりながら、体操やレクリエーションを楽しみました。参加者からは「自宅でする運動が分かった」

「外に出てみると笑うことの大切さを知った」といった声がかげられました。※養成講座で介護予防の知識や技術を習得した人

八女の大会でパート優勝

ママさんバレーボールチーム CheerS



10月に八女市で行われた「家庭婦人バレーボール大会」で、CheerSがパート優勝しました。CheerSは創部1年目のママさん

バレーボールチーム。毎週水曜日の20時から、広川中学校体育館で楽しく練習しています。興味のある人はぜひご連絡ください。
圃松崎
☎080-5205-8810

謎ショットで盛り上がる

当条区 親睦ゴルフ会



11月、当条区恒例の「親睦ゴルフ会」が行われました。今年は大牟田市のグリーンランドで開催され、ナイスショットや謎ショットなどで盛り上がりました。ゴルフ後の親睦会では、プレイの話や区内のこと、参加者の近況などで親交を深めました。

地域の花壇を整備

川瀬区まちづくり委員会



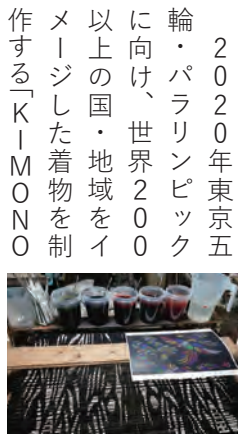
川瀬区まちづくり委員会は11月11日(日)、公民館やお宮境内の花壇を整備しました。当日は老人クラブや壮年会、少年団育成会など合計20人が参加。プリムラジュリアンやパンジー、デージーなど色とりどりの花を植えました。

久留米絣が東京五輪・パラリンピックへ KIMONO プロジェクト

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、世界200以上の国・地域をイメージした着物を制作する「KIMONOプロジェクト」。メキシコ合衆国の着物を、富久洋さん（富久織物）ら「井桁の会」が手掛けました。

着物の上半分は、黒にアステカ文明の白い模様が浮かび上がるもの。下半分は複数の色を使ったさまざまな模様で、少数部族の衣装の柄が表現されています。富久さんは「すでに完成しているキリバス共和国の着物は、伝統的な手織りによるもの。あえて機械織りで、デザインや特殊な糸、色使いなど現代の技術を詰め込んだ」とこだわりを語りました。

今後は各種イベントなどで披露される可能性もあるとのこと。観覧の機会があった際は、ぜひメキシコの着物にご注目ください。

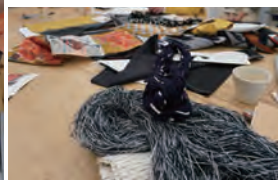


久留米絣の全工程を学ぶ 「ひろかわ産地の学校」開校

久留米絣の全工程を学べる連続講座「ひろかわ産地の学校」が始まりました。これは担い手育成や絣の新製品開発のきっかけづくりとして、(株)糸編（東京都）と町が共同で行っているものです。

11月24日(土)、久泉区のまきびるで行われた第1回目では、県内外から集まった参加者が繊維の基礎を学びました。

講座は3月までの全8回で、絣工房で職人から指導を受けたり、参加者同士で意見交換を重ねたりする予定です。



あこがれの選手と野球体験 タマスタ筑後で野球教室

タマホームスタジアム筑後で11月23日(祝)、ふれあい野球教室「ソフトバンクホークスベースボールキット2018 in九州・山口」が開催され、町内から多くの小学生が参加しました。

この教室は、子どもたちがホークスの現役選手から野球指導を受けられるもの。参加者は岩寄翔投手、和田毅投手、福田秀平選手、堀内汰門選手、渡辺健史投手と一緒に、ティーバッティングやストラックアウト、ドッジビーなどを楽しみ、元気いっぱい動きまわりました。



まちのわだい

親子で楽しむ「遊び場」

広川チルドレンズパーク

藍彩市場で12月16日(日)、子どもの遊び場づくりの実証実験として「広川チルドレンズパーク」が行われました。当日は雨天ながらも、多数の親子が来場。子どもたちはチェンソーで木のフクロウが出来上がる様子を見たり、画家になった気分で絵を描いたりして楽しみました。

トランポリンや段ボール迷路を進んでゴールを目指す「ヒロチルサーキット MOVE ON!」は大好評！何回も列に並び直して挑戦する子どもの姿が多く見られました。

同時開催の「ヒロチルマルシェ」では、雑貨やパンなどのお店が集結。話題の「おひるねアート」も行われ、たくさんのかわいい芸術が生まれました。



異なる文化での礼儀を考える

グローバルお作法キャンプ

9月から11月にかけて、ゲストハウスおりげで「グローバルお作法キャンプ」が行われました。これは1回のワークショップと2回のデイキャンプを通して、小学生がグローバル時代のお作法を学ぶものです。

デイキャンプでは、子どもたちが国連公用語（アラビア語、スペイン語、ロシア語、フランス語）を話す多様なゲストから話を聞き、気になることを質問。終了後の「グローバル時代のお作法ってなんだろう？」という問いかけに対し、参加した子どもたちは「見た目や、姿形で判断しない」「それを指摘しない」という考えに至りました。

今回の活動から、自分たちと外国人の文化や考え方の違いを見つけ、受け入れることができたようです。

和紙で作る「亥」

ちぎり絵づくり



12月11日(火)、町民交流センター「いこつと」でちぎり絵づくりが行われました。参加者はちぎりにくい厚めの和紙に苦戦しつつも、最後には今年の干支「亥」が完成。自分の作品を見て「上手くできてよかった！」と笑顔を浮かべていました。

サンタさんに大喜び

図書館冬まつり



12月15日(土)、町民交流センター「いこつと」で図書館冬まつりが行われました。参加した子どもたちは、おはなしの会「ぎらら」による大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、サンタさんや広川まち子ちゃんからのプレゼントに目を輝かせていました。